

# 地域公共交通の制度財源検討会（第7回）

## 開催のお知らせ

2007年の地域公共交通活性化再生法成立後10年超経過し、また、交通政策基本法制定（2013）からも相当経過しています。しかしながら、地域の公共交通は充実するどころか衰退が問題となっていて、交通分野だけの充実に向けての問題、課題の指摘のみならず、人口減少や新技術の台頭を見据えた新たな方策を考えなくてはならないようになりました。

そこで、大都市圏縁辺部及び地方都市の地域公共交通サービスに焦点を当て、民間の自由競争と独立採算を基本とする日本の常識（世界の非常識）を制度的に見直すことを目標にして議論を深めることが必要と考えます。それには、単に独立採算制を議論するだけではなく、運輸連合（独語圏）、総合交通局（英国）等の合意形成方策を含めた方策を手本に検討しつつ日本型の解決法を構想すべきと考え、本年3月よりそれらを論点とした検討会を開催することとし、これまで6回の議論を重ねてきました。

第7回では、2000年代に入ってから地方鉄道においてもかなり採用実績が積み重ねられてきた上下分離方式について、この問題について研究を重ねられてこられた富山大学都市デザイン学部教授の金山洋一氏をお迎えして、都市・地域づくりにおけるその可能性についてお話を伺うこととし、検討会の後半は、ご参加の皆様と意見交換を行うことといたします。

皆様には、引き続き「制度財源検討会」に奮ってご参加をお願いしたいと思います。

NPO法人 エコエネルギーによる地域交通システム推進協会（AREEV）理事長  
人と環境にやさしい交通をめざす協議会（交通まちづくりの広場）代表幹事  
竹内 佑一

### ● 制度財源検討会 第7回

日時 2019年12月19日(木) 18時30分より

場所 関西大学東京センター

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー9階(JR東京駅日本橋口)

<http://www.kansai-u.ac.jp/tokyo/map.html>

講師 富山大学都市デザイン学部 教授 金山 洋一 氏

題目 「都市政策に適う公共交通サービスを実現しうる官民分担型上下分離の考え方と可能性(仮)」

● 参加費 1,000円(資料代)

● お申込み Eメールにてご芳名、ご所属を下記アドレス宛てにお申し込みください。

人と環境にやさしい交通をめざす協議会 小田部(コタベ)

申込先 ⇒ [a.kotabe@k8.dion.ne.jp](mailto:a.kotabe@k8.dion.ne.jp)

※ これまでの開催場所でありました中央大学駿河台記念館は改築のために使用できないため、今回から開催場所が関西大学東京センターに変更されていますのでご注意ください。

(参考 開催経過)

- 第1回 2019年3月22日「地域公共交通の制度改革の方向～欧州から学べる事学べない事」  
関西大学教授 宇都宮浄人氏
- 第2回 2019年4月26日「地域公共交通イノベーションの課題」  
国土交通省総合政策局公共交通部交通計画課長 蔵持 京治 氏
- 第3回 2019年6月24日「路線バス事業の持続可能性の確保に向けて」  
(株)みちのりホールディングス代表取締役 CEO 松本 順 氏
- 第4回 2019年8月2日 「水戸地域公共交通網の動向と路線バス再編の課題」  
水戸市市長公室交通政策課長 須藤 文彦 氏
- 第5回 2019年10月25日「広島市における公共交通再編の取組と今後の課題」  
広島電鉄株式会社取締役交通政策本部長兼人材管理本部長 仮井 康裕 氏
- 第6回 2019年11月22日「四国の公共交通ネットワークの持続に向けて」  
四国旅客鉄道株式会社取締役総合企画本部副本部長 長戸 正二 氏